

ニツ池セレクトナ自然体験・環境活動拠点整備事業（設計・施工業務） 委託仕様書

1 事業名

ニツ池セレクトナ自然体験・環境活動拠点整備事業（設計・施工業務）委託

2 業務の目的

本業務は、老朽化が進む本市の自然体験学習施設「ニツ池セレクトナ」（以下「セレクトナ」という。）を、デジタル展示を軸とした体験型の学びの場として再構築し、ゼロカーボンの推進拠点として地域づくりに貢献するとともに、市民や環境団体の活動の場としても機能させることを目的とした改修事業です。

令和7年度に設計、令和7年度から令和8年度にかけて施工を予定しており、改修にあたってはデザイン性・安全性・利用者ニーズに配慮した空間整備を行います。

3 業務の背景

これまでセレクトナは、地域住民や環境団体と連携し、自然体験学習施設として親しまれてきました。施設改修を機に、セレクトナをゼロカーボンの推進拠点として進化させるため、デジタル技術を活用し、自然とデジタルが融合した体験型展示やイベントを通じて、新たな魅力を創出します。

また、自然体験を入口に、市民の脱炭素行動を促進し、ワークショップや学校連携などのソフト事業を通じて、学びと実践の循環を形成します。さらに、地域の多様な主体が交流・連携できる場を整え、新たな大府市環境パートナーシップの担い手を育成。

ゼロカーボンを推進する施設として、住む人も訪れる人も愛着を持てる、持続可能なまちづくりの拠点を目指します。

4 業務内容

(1) 改修プラン作成業務

本業務の目的と背景を踏まえ、「改修プラン」を作成すること。「改修プラン」には、「レイアウト図」、各コーナーの「展示内容」その他必要な事項を記載すること。なお、「改修プラン」の作成に当たっては、原案を提示した上で、必要に応じて修正案を作成するなど、本市と十分に調整を行うこと。

(2) 改修業務

本改修業務では、業務の目的に向けて脱炭素社会の実現に向けた体験型・参加型の展示内容へ刷新する。各展示コーナーは、体験や参加を通じて「脱炭素」や「環境との共生」への理解と行動変容を促すことを意図

し、静的な展示から動的・対話的な学びへと転換を図る。施設全体が来館者にとって自然や暮らしとつながる“気づき”の場となるよう、空間や動線の工夫も含めた改修を行う。展示コーナーは独立した構成とする必要はなく、連携・融合させることを前提とする。また、制作上疑義が生じた際は、本市と調整を図る体制とする。

① 体験学習スペース

自然環境や脱炭素に関する学びを遊び感覚で直感的に体験できるよう、インタラクティブ技術やVR・ARなどのデジタル技術を活用した展示を導入し、こどもたちをはじめとする来館者が楽しく環境を学べる空間を創出する。

また、地域の自然や暮らしへの関心を高めるため、裸眼立体視PCなどのデジタル技術を活用しつつ、五感を使って主体的に学べるようなアナログ的な体験を重視した参加型展示を導入します。展示を通じて、来館者が日常生活での実践や地域活動への参加意欲を高められるよう設計する。

② 玄関・玄関ホール（木質外構・床面誘導等）

外構には木曽ヒノキなどの木材を使用し、温かみのある外観に改修します。これにより、来館者が自然とのつながりを身近に感じながら楽しく入館できる環境をつくります。施設の第一印象から環境配慮や自然との共生を感じられる工夫を施します。

③ 発見と学びの展示（ディスカバリー空間）

1階の書籍コーナーや情報検索コーナーは、デジタル技術を活用して大幅に刷新し、自然や脱炭素に関する展示やコンテンツを配置した「ディスカバリー空間」として再構築します。

来館者が自らの興味・関心に応じて直感的に学びを深められる場とするとともに、大府市環境パートナーシップ参画団体が企業・市民・団体同士とつながる交流の場としても活用します。展示と学びを結び付けることで、日常生活における環境行動のきっかけを提供します。

5 業務履行場所

二ツ池セレクトナ（大府市横根町名高山88番地の1）

【業務対象エリア（別図参照）】

- ① 2階展示スペース 約 90㎡
- ② 1階書籍コーナー 約 45㎡
- ③ エントランス

6 履行期間

契約締結日の翌日から令和8年10月30日（金）まで

受託者は、令和8年10月30日（金）までの間に、すべての業務が完了できるようにすること。目安は下記のとおりとする。

項目	令和7年度	令和8年度
設計業務	レイアウトの設計、調整 	
制作・設置業務	展示の設計、調整 	展示作成、設置 
公開準備等		R8. 11月一般公開 

7 成果品

本業務完了後、以下の成果品を提出すること。

- (1) 業務報告書 1部
- (2) 製作図（完成図） 2部
- (3) 展示物設置状況写真 1部
- (4) 打合せ記録 1部
- (5) 取扱いマニュアル等 2部
- (6) 上記の電子データ 1式
- (7) その他市が求める資料 1式

8 業務の進め方

- (1) ニツ池セレクトナと調整しながら業務を進めること
- (2) 本市監督職員との定例協議を月1回程度実施すること
- (3) 段階ごとに成果物（案）を提出し、承認を得ながら進行すること

9 留意事項

本業務は、ニツ池セレクトナをゼロカーボンの推進拠点として再構築するための改修業務である。展示空間と今後展開されるソフト事業が連動し、市民・団体・企業が学び、交流を深め、行動につながる場となるよう、以下の点に留意すること。

- (1) 改修の目的と連動性の確保
 - ・ 自然環境や脱炭素について、子どもから大人までが「楽しく・主体的に」学べる体験型展示とすること。
 - ・ 展示内容は、今後実施される大府市環境パートナーシップ参画団体等の活動・情報発信などのソフト事業と連携・発展しやすい構成とすること。
 - ・ 展示をきっかけに「知る → 興味をもつ → 実際にやってみる」の流れを大切にし、各空間の役割やメッセージに一貫性を持たせること。
- (2) 地域性・環境配慮の重視
 - ・ 地域の自然環境や暮らし、既存の環境活動を踏まえ、地元根ざした

展示内容とすること。

- 木材の活用や省エネ設計など、施設全体で脱炭素・循環型社会を体現する構造・素材とすること。

(3) 体験性と更新性の確保

- 触って楽しめる展示と映像などのデジタルを組み合わせ、アナログとデジタルの良さを生かして、楽しく学べるようにすること。
- 展示内容は定期的に更新・差し替えができる構造とし、ソフト事業との連動や季節・テーマごとの対応が可能な設計とすること（表示の可変性、運用しやすい機器の選定等）。

(4) 拠点としての「ひらかれた空間」づくり

- 学習室、書籍コーナー、森のテラスなど、展示以外の空間との連携を意識し、市民や団体が主体的に利用・交流できる場とすること。
- 玄関やホールなどの導入部も含め、来館者にとって親しみやすく、自然に関心を持てる居心地の良い空間演出とすること。
- 大府市環境パートナーシップ参画団体が、市民・企業・他団体とつながる場としても活用できる設えとし、拠点の役割を高めること。

10 参考資料 二ツ池セレクトナ自然体験・環境活動拠点 整備方針（案）

11 その他

- (1) 本業務により作成した提出物の著作権は、本市に帰属するものとする。
また、本業務に関して受託者が行った提案等の内容は、本市の今後の取組にも利用できるものとする。
- (2) 本業務について、原則として再委託は認めない。ただし、専門的で高度な対応が必要となるなど、再委託が業務遂行に有用であると認められる場合において、あらかじめ本市の承諾を得た場合はこの限りではない。
- (3) 受託者は、本業務を第三者に再委託した場合、当該委託先に対して、本仕様書に定める受託者の義務と同等の義務を負わせるとともに、本市に対して当該再委託先の全ての行為及びその結果について責任を負うものとする。
- (4) 受託者は、本業務に関して知り得た機密情報を他人に知らせ、不当な目的に使用してはならない。再委託を行う場合は、再委託事業者についても同様とする。
- (5) 受託者は、本業務の実施にあたって、本市と十分な協議及び緊密な連絡調整を行い、円滑かつ効率的な実施に努めること。また、受託者が持つ展示改修の実績・ノウハウをもとに、必要な事項については、積極的な提案を本市に対して行うこと。
- (6) 本業務を実施する上で疑義が生じた場合は、速やかに本市と協議を行

い、適切に対応すること。

- (7) 本業務における展示設計・コンテンツ制作にあたっては、整備方針に沿って施設全体の一貫性を重視し、意図や趣旨に反しないよう配慮すること。必要に応じて本市と内容の確認・調整を行うこと。
- (8) 展示物や設備の選定・設計にあたっては、将来的な更新や運用負担を考慮し、保守性・耐久性・拡張性に配慮すること。
- (9) 展示物やシステムに関するデータ（画像・映像・プログラム等）は、編集可能な形式で納品し、本市が今後の更新・活用を行えるようにすること。

【別図】

